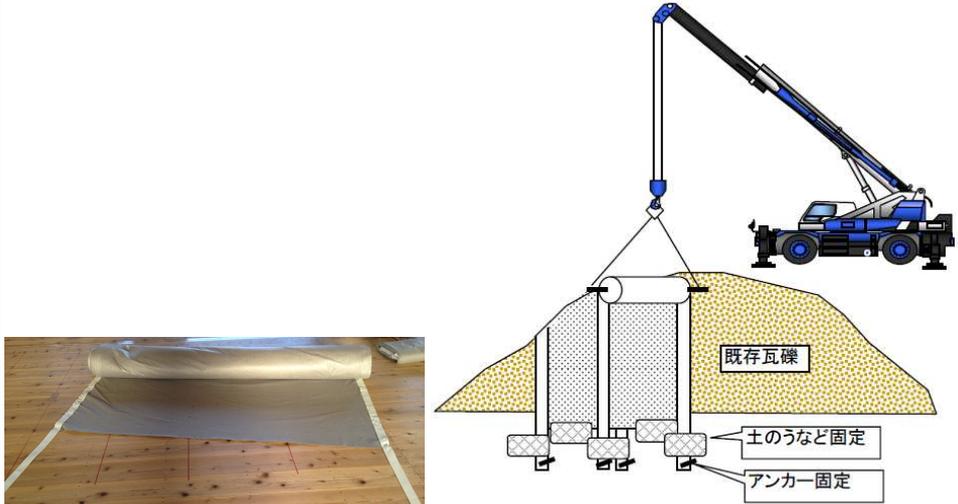


商品・工法名称	集積場に集積された瓦礫へのカバー材の敷設方法
商品・工法の分類	■瓦礫処理、□除染作業、□除染仮置き、□復旧・復興、□その他
商品・工法概要	<p>予め「固定バンド」を取り付けロール化したカバー材を、クレーンで吊り上げてカバーする。固定バンドが重なるように順次吊り上げ・敷設することにより、既に積上げている1次集積場に有る瓦礫に作業員が載ることが無く「粉塵防止、臭気対策、雨水による拡散防止」などの目的でカバーが掛けられる。</p>
商品規格・概略図等	<div style="text-align: center;">  </div> <p>固定バンド加工例</p> <p>カバー材の種類：瓦礫の種類によって「通気防水タイプ」「透水タイプ」「消臭・難燃加工」「保護材の厚み」「保護材の色目」など選定可能</p> <p>カバー材の規格：施工性、積上げ瓦礫の大きさに応じて幅加工、巻長など対応可能</p>
使用・施工条件 適応場所など	<p>2次集積場や中間処理場に移動するまでに時間を要する1次集積場への使用。 成型されていない瓦礫の山にカバーする場合に作業員が載らずに施工できる。</p>
その他必要資材	<p>固定バンドを固定するアンカーピン、カバー端部を固定する土のう袋など</p>
使用・施工上の 留意点	<p>腐敗性の瓦礫にカバーする場合は、カバー材の色にも注意が必要。黒色シートは夏場に高温となり内部温度上昇の懸念も。</p>
維持管理	<p>カバー材に緩みがある場合は固定バンドを再固定し緩みを解消。 カバー材の大きな破れなどが発生した場合は上から新しいカバー材を再敷設する</p>
経済性	<p>結束ベルトによる固定方法に比べ材料費も安く、施工費は大幅に削減が可能。結束作業員が少なくトータルコストが削減できる。</p>
参考文献	<p>環境省東日本大震災に係る災害廃棄物の処理指針(マスタープラン)付属資料2</p>
問合せ先	<p>東洋紡績株式会社 スパンボンド事業部 石川、奥村 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア 電話03-6422-4858 FAX03-6422-4838 yuji_okumura@toyobo.jp masahiro_ishikawa@toyobo.jp</p>